

日本政府への核兵器禁止条約の署名、批准に関する意見書提出の陳情

平成 30 年 2 月 20 日

「非核平和都市条例を考える会」
苫小牧市音羽町 1-15-3
代表代行 斉藤けい子
電話 070-5067-0535

苫小牧市長 岩倉博文殿

<要旨>

・国連で採択された「核兵器禁止条約」に署名、批准するよう市として意見書を日本政府に提出し働きかけてください。

<理由>

・昨年 7 月、国連で核兵器を全面的に違法化する「核兵器禁止条約」が採択されましたが、日本は条約に署名も批准もしませんでした。国連加盟国の 6 割以上の賛成で成立した「核兵器禁止条約」に戦争による世界唯一の被爆国日本が賛成しなかったことに多くの国連加盟国からも落胆の声が上がりました。

・その後、NGO 団体の「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN) がノーベル平和賞を受賞。ICAN の授賞式に広島、長崎の被爆者も参加し、世界的に注目を浴びました。

・それを受けて、全国的に広島市、長崎市を含む地方議会 112 ヲ所で、日本政府に対し、同条約への署名、批准の意見書が提出され、衆参両院で受理されております。

道内においては、旭川市、釧路市、帯広市各市議会など 21 の市町議会で、意見書が可決され、衆参両院に受理されています。

・苫小牧市は北海道唯一の「非核平和都市条例」をもつ都市です。平和行政の一環で、毎年中学生を広島に派遣するなど平和教育にも前向きに取り組んでいるマチでもあります。

・平和を希求するマチとして、早急に核兵器禁止条約に署名、批准する意見書を日本政府に提出するよう陳情いたします。併せて、意見書提出を以て、市として平和希求都市であることを苫小牧市民に再認識してもらおう意味でアピールしてもらいたく存じます。